

日本語学習者のための発音学習支援

早稲田大学日本語教育研究科・教授

戸田貴子

本講演では、まず、日本語のコミュニケーションにおいて、なぜ学習者の不正確な発音が問題になるかということについてお話しします。次に、それを改善する練習方法を具体的に紹介します。本講演の一部は模擬授業形式で行います。

みなさんは「せっかく一生懸命日本語を勉強しているのに、発音が上手にならない」「ベトナム語のクセが直らない」ということを聞いたことはありませんか。外国語学習において、母語の影響が最も顕著に現れるのが「音声」です。発音だけでなく、聞き取りにも母語の特徴が見られます。母語のクセが強い発音は単に不自然であるというだけではなく、聞き手にとって聞きづらく、言いたいことが伝わらないことすらあります。

文法や読み書きはたくさん練習しても、発音の学習機会がほとんどないという悩みもたびたび耳にします。発音の問題は、学習者の情意面にも影響を及ぼし、日本語学習全体における消極的な学習姿勢や学習不安を引き起こす原因にもなります。来日してから、発音上の問題で、日本語が思ったほど通じず、なかなか自信を持って話せないという学習者もいます。

ベトナムにおいても、日本語学習者が多様化しており、学習目的によっては高度の音声習得が求められることが増えてきました。たとえば、日本企業に就職する場合や、日本語教師や通訳といった専門職を志望する場合です。このように職業的動機に支えられ、日本語を学習する日本語学習者にとっては、内容や気持ちがきちんと伝わる正確な発音で話せるようになることが求められています。

一般に「子どものときに外国語学習をした場合には、自然な発音が身につくけれど、大人になってから学習を開始した場合には、母語のクセが残る」という印象が持たれることがあります。しかし、近年の研究の成果から、大人になってから日本語学習を開始した場合でもネイティブレベルの発音の習得が可能であることがわかっています(戸田 2008)。このことは、成人日本語学習者に対する音声教育の意義を示しています。

そこで、本講演では、言いたいことが伝わる発音で話せるようになるための発音学習支援の方法について、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

【参考文献】

戸田貴子編著 (2012) 『シャドーイングで日本語発音レッスン』 スリーエーネットワーク

戸田貴子編著(2008) 『日本語教育と音声』 くろしお出版

戸田貴子(2007) 『日本語でシャドーイング』 <http://www.gsjal.jp/toda/>

戸田貴子(2004) 『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』 スリーエーネットワーク、中国版『让你沟通自如的日语发音课本』, 韓国版『일본어발음』